

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	道路維持管理事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法
			08	02	01	03	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体	
	1 道路・交通						担当課係等	道路課	
⑤生活道路の整備								管理担当	
事業期間	期間限定複数年度（平成27年度～令和 5年度）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
限られた予算の中で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防保全的な対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの削減を行う。 これにより、次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することを目的とする。	道路維持管理事業	
【期待される効果】	【対象者】	
次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができる。	市道及び橋梁利用者	
【全体概要】	【特記事項】	
本事業は、かすみがうら市橋梁長寿命化修繕計画に基づき市が管理する道路橋梁の適切な維持管理を行う。	○5年に1回の道路橋梁定期点検義務により、平成25年度から平成30年度の5年間で一通り点検が完了したことから、令和元年度に見直し策定した橋梁長寿命化修繕計画により計画的に橋梁点検及び橋梁修繕等を行っていく。 ※道路更新防災等対策事業補助金[道路メンテナンス事業補助]（補助率55%）を活用する。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
令和元年度に見直しした橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修設計及び補修工事を実施する。	令和元年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修設計及び補修工事を実施する。 道路橋梁法令定期点検実施。 【令和元年度～令和5年度の5年間で点検。】	

## ■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	30,791	117,621	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	26,882	96,238	0
歳入計（千円）		57,673	213,859	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	20,203	187,800	0
	14 工事請負費	37,470	26,059	0
歳出計（千円）（A）		57,673	213,859	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		2.00	2.10	0.00
職員人件費（B）		15,564	16,343	0
総事業費（A）＋（B）		73,237	230,202	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	橋梁補修計画実行件数	橋	目標	3.00	3.00	0.00
	長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修設計・工事件数		実績	2.00	7.00	0.00
		橋	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補修計画実施件数	橋	目標	3.00	3.00	0.00
	補修設計・工事実施件数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 橋梁を適切に維持管理するものであり、当市の施設管理の政策体系から目的との整合性が結びついている。 第3編>第3章>基本目標3-2>1>⑤
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 計画的かつ予防保全的に点検、補修を実施することで、道路の安全及び維持管理費を平準かつ縮減する。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 現状で最善を見込んでいると考えるが、改善の余地が無いと言えるものではない。情報収集と検証を通じての改善を進めるものである。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 補修時期が遅延することで、橋梁が損壊すれば、安全性及び通行が不可になった際の経済的損失規模は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 橋梁の点検、修繕については特殊性があり、また安全性を求めるものであることから、他事業との連携は難しい。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 法令により義務付けられた点検、点検結果に基づいた危険箇所の修繕計画であるため、法令違反及び安全性に問題が出ることから削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 事業対象の橋梁は公共施設であり、すべての利用者が等しく受益するものであるため、市内の平準化した上で公平・公正なものである。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	事業を改善させるための情報収集、検証を通じて柔軟な見直しを含めた事業実施を進めていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：酒井 宏 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 橋梁点検事業については、平成31年3月国土交通省定期点検要領に基づいて定期的に点検を実施し、橋梁の損傷箇所を把握してきた。また、令和4年度以降に点検を実施するすべての橋梁においては、新技術の活用を検討し、費用縮減や点検の効率化を図り、適切かつ継続的な維持管理の実施を目指す。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 第2期計画の長寿命化計画更新を基に、補助事業及び新技術を充分活用し、併せて費用対効果も視野に入れた事業の遂行を図りたい。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	市道整備事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 道路法
			08	02	02	05	政策経費	
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体
	1 道路・交通						担当課係等	道路課
④幹線道路の整備						工務担当・用地担当		
事業期間	単年度のみ							

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 計画路線や行政区要望を基に、道路改良工事、舗装補修工事、排水整備工事を実施し、市道利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。	【関連事業】 道路整備事務事業 道整備交付金事業（政策）
【期待される効果】 車両通行及び歩行者等の安全性の確保及び利便性の向上。	【対象者】 市道利用者
【全体概要】 計画路線整備及び行政区長要望または通学路整備等を主に行っている。要望路線、計画路線区域については、用地取得により早急に整備する必要がある。また、通学路については各関係機関と合同点検等を実施し、安心して安全な整備が早急に必要である。舗装補修工事については、幹線道路を継続的に補修します。排水整備工事については、冠水・滞水箇所を整備をします。	【特記事項】 ○公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置率30～50%） ○防災安全交付金事業（補助率50%・55%） ○地方創生道整備推進交付金（補助率50%） ○都市構造再編集支援事業補助金（補助率50%）
【令和 2年度 事業内容】 ・道路改良工事 ・舗装補修工事 ・排水整備工事 ・用地買収、補償 ・石岡・かすみがうら広域幹線道路詳細設計業務委託	【令和 3年度 事業内容】 ・道路改良工事 ・舗装補修工事 ・排水整備工事 ・用地買収、補償 ・広域幹線道路用地測量業務委託 ・広域幹線道路用地補償費算定業務委託
【令和 4年度 事業内容】	

## ■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	30,439	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	177,968	260,783	0
歳入計（千円）		177,968	291,222	0
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	01 報酬	2,043	2,065	0
	03 職員手当等	290	438	0
	04 共済費	394	412	0
	08 旅費	76	76	0
	10 需用費	315	616	0
	12 委託料	19,345	96,537	0
	14 工事請負費	137,336	180,536	0
	15 原材料費	64	166	0
	16 公有財産購入費	12,107	3,809	0
	21 補償、補填及び賠償金	5,998	6,567	0
歳出計（千円）（A）		177,968	291,222	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		3.40	4.20	0.00
職員人件費（B）		26,459	32,685	0
総事業費（A）＋（B）		204,427	323,907	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	発注率	%	目標	100.00	100.00	0.00
	整備箇所／計画箇所		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	整備率	%	目標	100.00	100.00	0.00
	整備延長／計画延長		実績	100.00	108.17	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 生活道路整備を目的としており、市の施策と合致している。 第3編>第3章>基本目標3-2>1>④
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民の生活と直結している市道整備(改良・舗装補修・排水整備)を実施しているため、妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 最小限の経費で最大限の効果を発揮するよう現場条件に合った適切な工法を検討した上で実施しており、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 通学路における危険箇所の解消、経年劣化により傷んだ舗装の補修、並びに雨天時における道路の冠水を解消する目的であり、休止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 道路法に基づき安全で快適な道路環境を整備する事業であるが、都市計画事業、土地改良、農道整備との統廃合・連携ができる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> すでにコスト削減や整備箇所を厳選した事業計画に基づき実施しており、事業費削減の余地はない。職員は必要最低限の人数で従事しており、設計業務の一部を外部に委託する等しているが残業を強いられる状況であり、事業削減なくしては人件費の削減も望めない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 緊急性、重要性、費用対効果等を考慮し、地域間の平準化を図りながら計画された事業を実施しており、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	限られた予算の中でより多くの市道整備を実施するため、補助金や交付金を最大限にする。また、様々な社会情勢を踏まえた上で他部署との連携を図り、長寿命化を基本とした維持修繕に力を入れる必要がある。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 酒井 宏 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 市民要望が非常に多い事業であるため、整備路線に必要性・緊急性・地元の協力体制・関係機関連携など総合的に優先順位や予算規模等を勘案しながら、計画的に道路整備事業を進めていく。また、補助要件に該当する事業は積極的に補助金を活用し、安全で快適に暮らせるまちづくりのため、引き続き計画的に事業を行う必要がある。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 根本 和幸 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 補助事業の模索検討を行うと共に、市内全体の平準化及び優先箇所などを含めて計画的に進めていく。		